

文部科学大臣表彰

文部科学省では、社会教育分野で地域に貢献した方や、事業の内容や方法に工夫を凝らし地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を毎年表彰しています。



まつだ いちさぶろ
松田 一三さん（日本ボーイスカウト鳥取連盟）

令和6年度社会教育功労者表彰



日本ボーイスカウト鳥取連盟において県連理事、団委員長、団委員として、指導的な立場から鳥取県全域のボーイスカウト活動支援に長年尽力されました。

ボーイスカウトの活動をととして、本県の青少年の自主性、協調性、社会性及びリーダーシップなどを育むことで、鳥取県の青少年育成に多大な貢献をされました。

また、21年間にわたり、鳥取県議会議員を務め、鳥取県議会ボーイスカウト振興議員懇談会（現 鳥取県議会ボーイスカウト運動議員連盟）の設立に向けた中心的役割を担ったほか、設立後もボーイスカウト活動を支え、青少年育成及び啓発にも尽力されました。

鳥取市立谷地区公民館（鳥取市国府町糸谷）

第77回優良公民館表彰



鳥取市立谷地区公民館は、地域活性化に向けた特色ある地域づくり事業として、自主映画「傘に愛をこめて 山本徳次郎」の制作をととしたまちづくりに取り組まれました。

山本徳次郎自主映画制作実行委員会を立ち上げ、制作部、資金部、広報部の3部制で取り組んだほか、撮影には多くの地域住民を巻き込むことで、公民館が持つ人・物・情報といったネットワーク資源を最大限活用されました。

映画制作は、地域の魅力の再発見や地域に対する愛着、誇りをもたらす活動となったことに加えて、谷地区の歴史を伝える大きな財産をもたらす活動となりました。



自主映画制作のための演技・撮影ワークショップ

（問合せ先）鳥取県教育委員会事務局 社会教育課

TEL (0857) 26-7521 FAX (0857) 26-8175

調査報告

長瀬高浜遺跡 発掘調査終了記念

令和の調査で

これはすごい!

公益財団法人 鳥取県教育文化財団 調査室



発掘調査員
はくつ
羽久津さん

ながせ たかはま 長瀬高浜遺跡とは?

長瀬高浜遺跡は、**湯梨浜町の砂丘地に所在する遺跡**です。1974年に発見された鳥取県を代表する遺跡の一つ。発掘調査により、**弥生時代前期から室町時代に至る時代の多くの遺構が発見**されました。国の重要文化財に指定された埴輪群をはじめたくさんの貴重な遺物が出土しました。



出土遺物が入った箱でいっぱいの室内

25年ぶりとなった令和の発掘では、のべ1,200のコンテナ箱におよぶ多量の出土遺物に加え、新たな発見がいくつもありました!

次ページから
令和の調査での
**イチオシの大発見を
3つ紹介するぞ!!**



きぬがたはにわ
蓋形埴輪の妖精
きぬちゃん

これは**すごい!**

発見1 竪穴建物跡から大量の土器が出土!

古墳時代初めごろ(約1,700年前)の竪穴建物跡から大量の土器が出土しています。土器の多くは建物として使われなくなった後、そのくぼ地をゴミ穴として利用し投棄されたものであることが分かりました。

見つけた土器はバリエーティーに富み、保存状態が抜群であることが特筆されます。なかには全く壊れておらず、完全な形の土器も数多く含まれています。煮炊きに用いられた土器には調理時に付いたススやコゲが生々しく残り、中からイガイやカキなどの貝殻やフグなどの魚骨が見つかったものもあります。当時の人々の**食生活や調理方法を復元していくうえで欠かすことができない重要な資料**といえます。



竪穴建物跡から大量に出土した土器

いちおしの
MOVIE



これは**すごい!**

発見2 類例のない囲炉裏跡!

古墳時代初めごろの竪穴建物跡から見つかった囲炉裏跡です。囲炉裏内の灰が飛散しないように巡らせた土手も良好な状態で残されていました。注目すべきは、**囲炉裏内から出土した筒状の炭化材で、ケヤキの一木**であることが分かりました。**囲炉裏施設の一部と考えられ、国内でも類例のない貴重な発見**です。

古墳時代初めごろ、煮炊きに使われた土器は、燃焼効率を高めるために丸底へと変化し、コンロの五徳のように何らかの台に置いて下から加熱する調理方法へと変化しました。ところが、**山陰地方でこうした置台が出土した例はなく、丸底の土器をどのように火にかけ調理していたかはよく分かっていません。今回見つかった炭化材は、こうした謎を解明するうえで重要な手がかり**となる可能性があります。



囲炉裏跡と中から出土した筒状の炭化材

いちおしの
MOVIE



...
(いちおし)



かっちゅうがた
甲冑形埴輪の
はに太くん

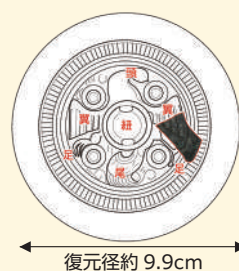
これは**すごい!** 発見3 国内初! 建物跡から飛禽鏡

古墳時代初めごろの**竪穴建物跡**から出土した、中国製(後漢～三国時代)の銅鏡です。鏡の背面に飛ぶ鳥をモチーフにした図が描かれています。2cm角ほどの破片ですが、中国鏡は当時、とても貴重品であったことから、鏡として使用できない破片であっても珍重されていたと考えられます。こうした鏡は「破鏡(はきょう)」と呼ばれ、他の遺跡では穴をあけ、ペンダントとして用いられたと考えられるものも出土しています。

飛禽鏡は、国内でもわずか十数例しか見つかっていない珍しい鏡で、鳥取県内では2例目の発見です。長瀬高浜遺跡では中国製を含む18面もの銅鏡が出土しており、**集落から多くの鏡が出土する全国的にも珍しい遺跡**といえます。



貴重な発見!



出土した飛禽鏡(左)、飛禽鏡復元図(右)

ぜひサイトを
見てくださいね

最新情報はここから



Webサイト

発掘や整理作業でわかった最新情報を随時発信します!



YouTube

きぬちゃんが調査成果を楽しくリポート! チャンネル登録よろしくね!



土器の妖精
土器おねえさん

問合せ先

公益財団法人 鳥取県教育文化財団 調査室

〒682-0704 東伯郡湯梨浜町南谷528-1

TEL 0858-35-5335

FAX 0858-35-5336